

令和5年度（2023年度） 学校要覧



ソルトペインティング 小学部5年児童作品
第29回全国特別支援学校文化祭 全国特別支援学校盲学校長会長賞受賞作品

北海道帯広盲学校

Hokkaido Obihiro School for the Visually Impaired

初代校長 岩元悦郎氏

岩元悦郎氏（当時小樽盲啞学校訓導）は、道東地方に盲・聾児のための教育施設が全くないことを知り、この地方の盲・聾児を教育することができるのであれば彼らの幸福であり、ひいては社会に貢献できると考えました。昭和12年4月、意を決して妻ヒデさんと帯広の地に移り、7月1日、帯広市東1条南9丁目18番地に私立帯広盲啞院を開設しました。その後、昭和23年10月1日に道立移管となり、北海道立帯広盲・聾学校と改称され、岩元悦郎氏が初代校長に就任されました。

北海道帯広盲学校校歌

作詞 渡 利 良 雄

作曲 桜 田 妙 子

編曲 加 納 利 雄



三	二	一
きびしくもそれにくじけり 積む雪の下の黒土に たくましく 生命は燃ゆる 声あわせ いざもろともに 世を拓く歌を歌わん	美しき 泉のごとく 心の眼 清らかにひらき 胸はりて いざもろともに 自主の旗高くかかげん	残雪の山脈はるか 風かおる 十勝の原に 生いであし 若草われら 手を取りて いざもろともに 進まん真理もとめて

校章の由来



校章は十勝の代表樹木であるかしわの葉と帯広の帯それに点字とペン先をもって構成されています。

視覚に障害があっても、十勝の厳寒に耐えながら学習に励み、力強く生きぬいていく姿を象徴しています。

I 帯広盲学校のあゆみ

1 沿革史

昭和	12.	7.	1	岩元悦郎、帯広市東1条9丁目18番地に私立帯広盲啞院を開設
	23.	6.	1	財団法人天郷学園帯広盲学校・帯広聾学校として認可され、理事長に藤本国夫、岩元悦郎就任
		10.	1	道立移管となり、北海道立帯広盲・聾学校と改称、初代校長に岩元悦郎就任
	25.	4.	1	北海道帯広盲学校・北海道帯広聾学校と改称
	30.	9.	23	校舎並びに寄宿舎竣工・移転、聾学校と共用
	32.	7.	31	開校20周年記念式典挙行
	33.	8.	11	盲学校校舎竣工、聾学校より分離移転（帯広市西24条南1丁目）
	38.	10.	1	校章制定
	40.	3.	1	校歌制定
	42.	7.	1	開校30周年記念式典挙行
	46.	9.	11	第4回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	47.	4.	1	幼稚部設置1学級・重複学級2学級認可
		10.	25	第7回北海道特殊教育振興大会開催
	51.	9.	11	第9回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	52.	10.	15	開校40周年記念式典挙行
	55.	3.	26	校舎・寄宿舎改築工事完成（現在地）
		9.	20	第13回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
		10.	27	校旗新調
		11.	6	屋体工事完成新校舎へ移転
	59.	9.	13	第17回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	61.	4.	1	幼稚部増設1学級（3歳児）
	62.	10.	25	開校50周年記念式典挙行
	63.	9.	8	第21回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
平成	5.	9.	9	第26回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	6.	6.	22	点字情報ネットワークシステム導入
		10.	2	第29回北海道特殊教育振興大会帯広大会開催
	7.	7.	6	この年より、専門家による眼鏡、弱視レンズ類の相談、調整、ケアが始まる
	9.	1.	27	帯広氷まつり参加
		7.	20	十勝視覚障害者生活福祉展（ふれあい広場）会場
	10.	3.	20	創立60周年記念誌発行
		7.	14	大規模改造工事開始
		9.	10	第31回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	11.	9.	8	大規模改造工事完成
	12.	8.	14	インターネットの導入 ホームページの開設（13. 2. 21）
		9.	6	第34回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	14.	10.	17	教育情報ネットワークシステム導入
	15.	9.	19	第1回全日本小学校ホームページ大賞県優秀校受賞
	16.	9.	10	第2回全日本小学校ホームページ大賞県優秀校受賞
	18.	3.	31	校内LAN整備完了
	19.	4.	1	校舎機械警備開始
		11.	10	創立70周年記念式典挙行、創立70周年記念誌発行
	20.	4.	1	十勝特別支援教育推進ネットワーク協議会（とかネット）事務局校
	21.	2.	20	十勝特別支援教育推進ネットワーク協議会が十勝管内教育実践表彰受賞
		9.	10	第42回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催（新型インフルエンザのため中止）
	24.	4.	1	北海道帯広聾学校寄宿舎を本校寄宿舎に統合
		//		教育目標を改訂
	25.	9.	10	第46回北海道盲学校文化体育活動発表大会主管開催
	26.	2.	4	カゴメ食育支援活動「りりこわくわくプログラム」優秀実践校「凜々子賞」受賞
	28.	6.	24	大規模改修工事開始（30. 2. 16 完成）
	30.	3.	19	「クライミングウォール」寄贈（STVラジオ様）
		3.	20	創立80周年記念誌発行
		9.	6	第51回北海道盲学校文化体育活動発表大会主幹開催（北海道胆振東部地震のため中止）
令和	1.	7.	16	全道盲学校による遠隔授業（英語）初実施
	2.	3.	3	帯広市福祉避難所指定
	3.	3.	31	GIGAスクール構想1人1台端末整備完了
	4.	4.	1	教育目標を改訂「かしこく ゆたかに たくましく」
		10.	12	体育館ステージ階段寄贈（帯広南ロータリークラブ様）

2 研究関係

昭和	24.	11.	1	北海道北部地区盲聾教育研究会開催
	42.	6.	1	全道盲学校生活指導研究会開催
	49.	10.	23	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	53.	11.	28	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	57.	10.	6	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	60.	4.	1	北海道立特殊教育諸学校学校教育実践研究校指定（昭和60～61年度）
		11.	21	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	61.	12.	5	実践研究指定校の公開研究会開催
平成	2.	11.	15	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	4.	10.	8	第44回北海道放送教育研究大会開催
		11.	24	平成4年度北海道体力づくり優良校表彰受賞
	5.	2.	22	十勝管内教育奨励表彰受賞
		4.	1	北海道特殊教育センター研究協力校指定（平成5～6年度）
	7.	4.	1	北海道立特殊教育諸学校学校教育実践研究校指定（平成7～8年度）
		11.	16	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	10.	3.	16	十勝管内教育実践表彰受賞
	12.	11.	16	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	14.	4.	1	北海道立特殊教育諸学校学校教育実践研究校指定（平成14～15年度）
	18.	11.	16	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	24.	11.	21	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
令和	28.	11.	17	北海道視覚障害教育研究大会主管開催
	2.	11.	18	北海道視覚障害教育研究大会主管開催（リモート開催）



3 歴代校長

初代	岩元 悦郎	昭和 12.	7.	1	～	昭和 29.	6.	28
第2代	加藤 良太	29.	6.	29	～	33.	3.	1
第3代	長田 右権	33.	5.	1	～	34.	4.	30
第4代	西条 哲夫	34.	5.	1	～	35.	4.	28
第5代	高倉 幸蔵	35.	6.	1	～	39.	3.	31
第6代	渡利 良雄	39.	4.	1	～	46.	3.	31
第7代	原 兼光	46.	4.	1	～	48.	3.	31
第8代	宮田 誠	48.	4.	1	～	50.	4.	1
第9代	石川 敏郎	50.	4.	2	～	53.	3.	31
第10代	安富 智正	53.	4.	1	～	57.	3.	31
第11代	倉林 雄幸	57.	4.	1	～	59.	3.	31
第12代	駒井哲次郎	59.	4.	1	～	61.	3.	31
第13代	横山 真	61.	4.	1	～	63.	3.	31
第14代	澤田 三尾	63.	4.	1	～	平成 2.	3.	31
第15代	竹内 亮二	平成 2.	4.	1	～	5.	3.	31
第16代	伊藤 勇	5.	4.	1	～	7.	3.	31
第17代	岡崎 豊治	7.	4.	1	～	9.	3.	31
第18代	宮崎 義宏	9.	4.	1	～	12.	3.	31
第19代	有澤 良康	12.	4.	1	～	15.	3.	31
第20代	笹森香代子	15.	4.	1	～	18.	3.	31
第21代	樋原 理恵	18.	4.	1	～	21.	3.	31
第22代	今出 正行	21.	4.	1	～	23.	3.	31
第23代	小林 守	23.	4.	1	～	25.	3.	31
第24代	坂下 浩寿	25.	4.	1	～	28.	3.	31
第25代	茂垣 之弘	28.	4.	1	～	31.	3.	31
第26代	佐古 勝利	31.	4.	1	～	令和 3.	3.	31
第27代	井上 敬	令和 3.	4.	1	～	5.	3.	31
第28代	瘡師 輝幸	5.	4.	1	～			

Ⅱ 令和5年度 北海道帯広盲学校学校経営方針



学校教育目標

- ・かしこく
- ・ゆたかに
- ・たくましく

視覚に障がいのある幼児児童生徒にとって豊かな教育環境を創造し、個々の発達段階に応じた教育を行い、社会の一員として人や自然と豊かにかわり、希望をもってたくましく生きる人を育てる

目指す学校の姿	目指す子どもの姿	目指す教職員の姿
1 高い専門性を有し、子ども・保護者・地域から「選ばれる」学校 2 互いの人権と人格を尊重し、子どもが安心・安全に学習・生活できる学校 3 保護者・地域と連携・協働し、子どもを育てる学校	1 進んで学び、自ら行動する子ども 2 体力や根気のある子ども 3 思いや考えを伝える子ども 4 周りの人と協力し合える子ども	1 教育への強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常にもち続ける教職員 2 主体的・対話的でより深く学び続ける教職員 3 諸課題に協働的に取り組む教職員

教育方針	経営方針
1 「知・徳・体」のバランスがとれた「生きる力」を育むため、子どもたちを「目指す子どもの姿」に導く。 2 視覚障がい教育の専門性を生かした「授業・接し方・環境」からなる「帯盲スタンダード」による指導を行う。 3 安心・安全な環境を整え教育活動を展開する。 4 子ども一人一人のよさや可能性を把握し、子どもが期待感、達成感を実感できる指導を行う。 5 ICT 活用等により少人数の学校における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。 6 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行う。 7 保護者及び地域とともに教育活動を推進する。 8 家庭的な安心感のもと、基本的生活習慣の確立と社会生活に必要な知識・技能を育む寄宿舎教育を行う。	1 目指す資質・能力を明確にし、教育課程の編成・実施・評価・改善（カリキュラム・マネジメント）を推進する。 2 全教職員が連携・協働して、全ての子どもたちの教育を担うとともに、チームとして学校課題の解決にあたる。 3 子どもたちの生命・健康・人権を守るため、学校の危機管理体制の強化を図る取組を推進する。 4 教科等の指導力及び視覚障がい教育の専門性を高めるため、外部専門家や ICT を活用した研修を推進する。 5 教職員が服務規律を遵守し、「目指す教職員の姿」に向け成長していく職場づくりに努める。 6 保護者の心情や期待を受け止め、家庭と学校とが相互理解の促進と信頼関係の構築に努める。 7 持続可能なセンター的機能を目指し、校内における計画的な人材育成と専門性の継承に努める。 8 学校事務に関して、各部署と連携を密にし、予算の計画的・効率的な執行と適正な事務処理に努める。

令和5年度の重点教育目標

考える力、人とかわる力、行動する力を育てる

教育の重点	経営の重点
1 基礎的・基本的な内容の着実な習得 2 障がいに基づく困難を改善・克服するための知識・技能等の育成 3 道徳性を育むための教育活動全体を通じた道徳教育 4 オンラインを含めた交流および共同学習、盲学校間の合同授業 5 地域資源を活用した体験的な学習と地域貢献的な活動 6 将来の自立と社会参加の基礎をつくるキャリア教育 7 教育活動全体を通じた食育、安全、健康の保持増進等の体育・保健に間する指導	1 子どもたちに必要な資質・能力を着実に育成するため、子ども理解を深め指導に生かす研究・研修等の推進 2 実効性のあるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を目指し、地域との連携強化と協働活動の推進 3 「選ばれる学校」を目指し、関係機関と連携した理解啓発と地域支援等の推進 4 保護者にとって「選んでよかった学校」を実感できるように、情報提供・支援・連携等の推進 5 「働きがいのある」、「働きやすい」職場とするため、教職員の創意工夫と対話・協働による働き方の改革の推進

研究主題

視覚に障害のある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援の在り方の追求 ～ 伝える力を高めるための指導方法の追究 ～

「学校教育目標」

視覚に障がいのある幼児児童生徒にとって豊かな教育環境を創造し、個々の発達の段階に応じた教育を行い、社会の一員として人や自然と豊かに関わり、希望をもってたくましく生きる人を育てる。

・かしこく ・ゆたかに ・たくましく

豊かな人間性

- ・自分の思いを表現し、相手の考えを受け止めることができる。
- ・周りの人と協力する。

健康・体力

- ・継続して運動に取り組み、体力を身に付ける。
- ・望ましい生活習慣や食習慣を身に付ける。
- ・自分の視覚や健康状態を知り、維持・管理に努め、よりよい生活環境を整える。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①学習したことや体験したことを生かす。
- ②自分の思いや考えを表現する。
- ③粘り強く最後まで取り組む。

何が身に付いたか

- ①学んだことを学習や生活のどの場面でも生かしたらよいか考えている。
- ②自分が感じたこと、考えたことを相手やTPOに応じた表現方法で伝えている。
- ③活動に見通しをもち、やり遂げるにはどうしたらよいか考え、意欲的に行動している。

子どもの実態

- 周りの人の話を受け止めて行動しようとする素直さをもつ。
- 明るく元気に挨拶ができる。
- 生活経験が不足している。
- 気持ちや考えを表現し、伝えることが少ない。

子どもの発達を どのように支援するか

障がいの状態に応じた子どもへの支援

- 一人一人の子ども良さや可能性を、把握し伸ばす指導・支援に努める。
- 家庭や関係機関等と連携して、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行う。
- 教職員間で情報共有を行い、連携・協働して指導・支援に当たる。

目指す子どもの姿

- 進んで学び、自ら行動する子ども
- 体力や根気のある子ども
- 思いや考えを伝え合える子ども
- 周りの人と協力し合える子ども

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ①各教科等で身に付けるべき力や基本的な生活習慣を身に付ける。
- ②概念の形成を養い、言葉を正しく理解して活用し、感じたことや考えたことを、様々な方法で表現する。
- ③時間や空間の概念を養い、見通しを持って活動する。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 保有する感覚を十分に活用し、基礎的・基本的な事項の着実な習得を目指した教育活動。
- 「帯盲スタンダード」に基づき、各教科等で相互に連携した学習活動。
- 地域社会や資源を活用した体験活動。
- 主体的に目標や計画を立て、振り返ることができる行事や学習活動。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 「帯盲スタイル」を基盤とした授業づくり・舎指導の推進。
- 個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用した家庭、関係機関等との連携強化。
- 校内外における交流及び共同学習の一層の推進。
- 地域リソースの活用や地域の諸団体との情報共有の促進。

安全・安心を守る

- ・様々な災害や状況に対応した避難訓練の実施。
- ・よく見て触ることができる教材教具や、環境の整備。
- ・社会的な諸問題から自らを守ることでできる指導。
- ・家庭や医療と連携しての健康管理。

開かれた学校づくり

- ・道東地域の視覚障害教育に関するセンター的機能の発揮。
- ・他校や地域の施設等との交流や共同学習。
- ・地域ボランティアの活用。

Ⅲ 幼児・児童・生徒の状況

(令和5年5月1日 現在)

(1) 在籍・学級編制

学部・学年 項目		幼稚部				小学部							中学部				合計
		3歳	4歳	5歳	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
幼児 児童 生徒数	男	2			2			1			1	2	1			1	5
	女							1		1		2					2
	計	2			2			2		1	1	4	1			1	7
普通 学級	幼児児童生徒数	2			2												2
	学級数	1			1												1
重複障 害学級	幼児児童生徒数							2		1	1	4	1			1	5
	学級数							1		1		2	1			1	3
通学生		2			2			1		1	1	3					5
寄宿舎生								1				1	1			1	2

(2) 出身地

学部・学年 市町村		幼稚部				小学部							中学部				合計
		3歳	4歳	5歳	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
十勝	帯広市	2			2					1	1	2					4
	音更町							1				1	1			1	2
	広尾町							1				1					1
	その他																

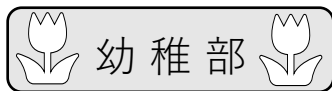
(3) 視力の程度

学部・学年 区分		幼稚部				小学部							中学部				合計	割合
		3歳	4歳	5歳	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計		
0																		盲 0%
明 暗 弁																		
手動弁・指数弁																		
0.01～0.02未満																		
0.02～0.04未満		1			1												1	弱視 100%
0.04～0.1 未								1				1					1	
0.1～0.3 未満								1				1	1			1	2	
0.3～0.5 未満										1	1	2					2	
0.5 以上		1			1												1	
計		2			2			2		1	1	4	1			1	7	

(4) 卒業生の進路

年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4
卒業生		1	2	4	1	3	3	1	2	1	3		5	2	2	1	1
進学	高等学校												1				
	北海道札幌視覚支援学校 *h27.4より名称変更	1		2	1	1	1		2	1	2		2	2			1
	高等養護学校			1							1						
	養護学校高等部		1	1		2	2						2		2	1	
	筑波大学付属高等部							1									
自宅			1														

Ⅳ 教育活動のようす



「元気と笑顔いっぱいの幼稚園！」



プール遊び



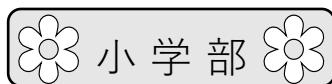
帯広聾学校交流

教育課程

領 域	週時数	計
総合的な指導の時間(健康、人間関係、環境、言葉、表現)	16.75	22.5
自立活動の内容に重点を置いた指導の時間	5.75	

日 課 表

9:00 ~ 9:15	登校・準備
9:15 ~ 9:45	自由遊び
9:45 ~ 10:15	朝の会
10:15 ~ 10:45	課題遊び
10:45 ~ 11:30	設定遊び・自立活動
11:30 ~ 12:00	自立活動
12:00 ~ 13:00	給食・歯みがき
13:00 ~ 13:30	自由遊び
13:30 ~ 13:45	帰りの会
13:45 ~	下校



「明るく、元気いっぱいの小学部！」

教育課程

	重複障害学級			
	3年		5年	6年
国語	2.5		4	4
社会	—		—	—
算数	2.5		4	4
理科	—		—	—
生活	—		—	—
音楽	2		2	2
図画工作	1		1	1
家庭	—		—	—
体育	3		3	3
道徳	—		—	—
外国語活動	—		1	1
総合的な学習の時間	—		—	—
特別活動	—		—	—
自立活動	6.5		5	5
日常生活の指導	6.5		5	5
生活単元学習	4		4	4
計	28		29	29



学習発表会（音楽発表）



宿泊学習（帯広の森）



音楽（器楽）

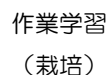
日 課 表

8:35 ~ 8:40	登校
8:40 ~ 8:50	学級活動
8:50 ~ 9:35	1校時
9:35 ~ 9:45	休み時間
9:45 ~ 10:30	2校時
10:30 ~ 10:45	休み時間
10:45 ~ 11:30	3校時
11:30 ~ 11:40	休み時間
11:40 ~ 12:25	4校時
12:25 ~	給食・昼休み
13:15 ~ 14:00	5校時
14:00 ~ 14:10	休み時間
13:10 ~ 14:55	6校時
14:55 ~ 15:05	学級活動・下校



教育課程

	重複障害学級
	1年
国語	4
社会	-
数学	3
理科	-
音楽	2
美術	-
保健体育	3
技術・家庭	-
外国語	1
道徳	-
総合的な学習の時間	1
特別活動	-
自立活動	5
日常生活の指導	5
生活単元学習	2
作業学習	4
計	30



道内盲学校とのオンライン授業



社会体験学習
(保育所での実習)

目 課 表

8:35 ～ 8:40	登校
8:40 ～ 8:50	学級活動
8:50 ～ 9:40	1校時
9:40 ～ 9:45	休み時間
9:45 ～ 10:35	2校時
10:35 ～ 10:40	休み時間
10:40 ～ 11:30	3校時
11:30 ～ 11:35	休み時間
11:35 ～ 12:25	4校時
12:25 ～	給食・昼休み
13:15 ～ 14:05	5校時
14:05 ～ 14:10	休み時間
14:10 ～ 15:00	6校時
15:00 ～ 15:10	学級活動・下校



「いきいきと明るく潤いのある寄宿舍！」



行事(ハロウィン祭)



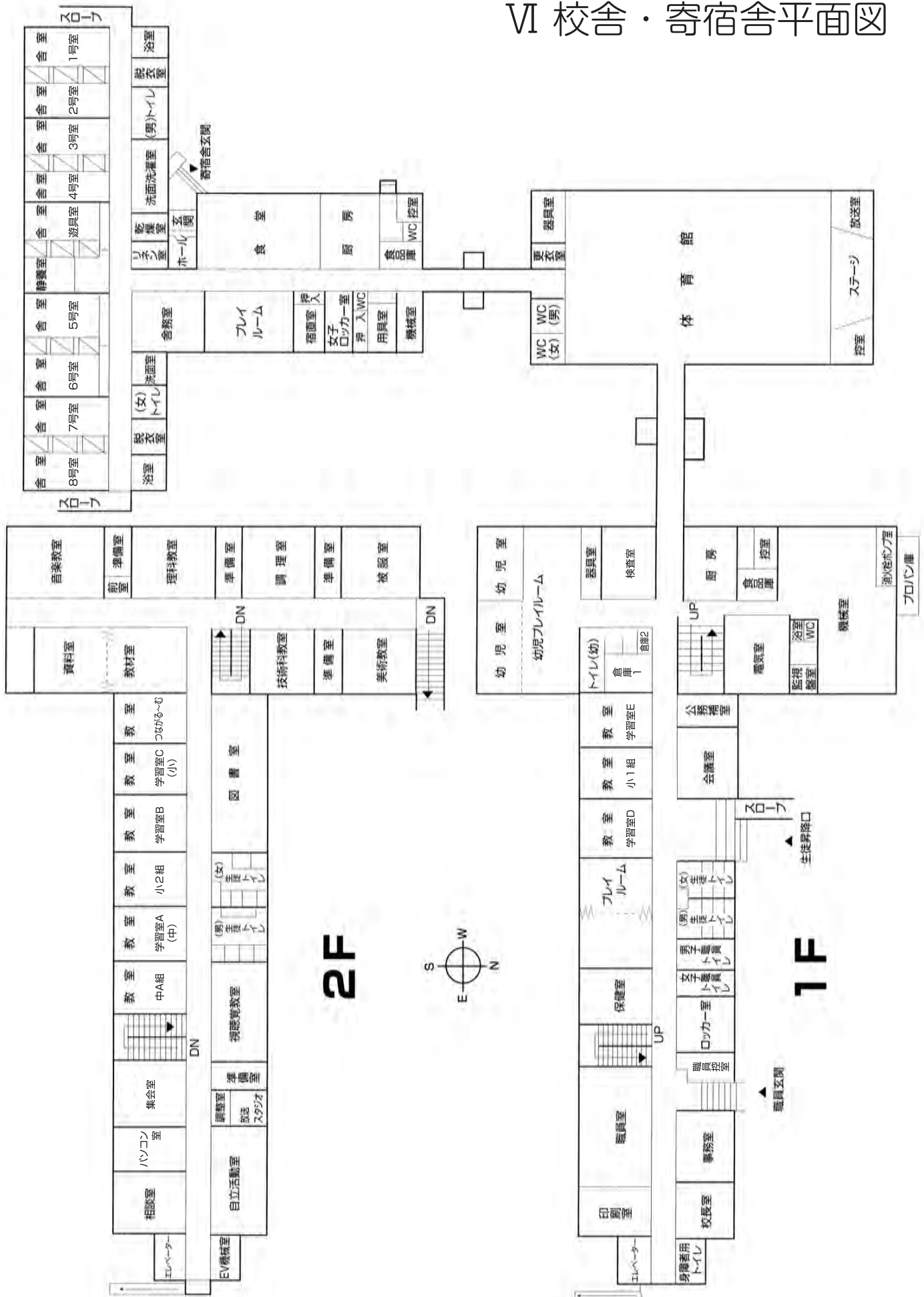
外出
(地域の商店での買物)

栽培 (莓)

目 課 表

	平 日	土・日・祝日
起床・洗面	6:30 ～	7:30 ～
朝食	7:15 ～	8:00 ～
登校準備	8:20 ～	—
登校	8:30 ～	—
昼食	—	12:15 ～
下校	14:10 ～	
入浴・掃除(中)	下校 ～ (入浴日:火・木)	
自由時間(幼・小)		
夕食	17:30 ～ 18:15	
自由時間	18:15 ～	
学習タイム	19:00 ～ 21:00	
就寝準備(就寝)	幼～小3	19:40(20:00)
	小4～6	20:40(21:00)
	中学部	21:40(22:00)
※舎生の実態に合わせて柔軟に対応しています。		

VI 校舍・寄宿舎平面図



視覚障がいに応じて用・教材・補助具の紹介

ロービジョンのための用具など

ロービジョン者（視覚になんらかの障がいがあり、生活に支障をきたす状態の方）の保有視機能を有効活用するための補助具が視覚補助具です。光学的視覚補助具・非光学的視覚補助具があります。

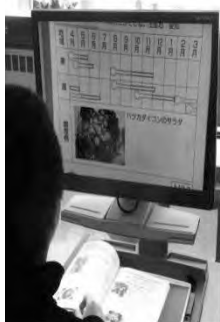
拡大鏡



近くのを拡大して見たい時に使用する補助具です。ルーペという商標名で呼ばれることがあります。

拡大読書器

TV画面に文字等を大きく映し出す機械です。本体とモニター画面からなります。モニターと一体型のタイプとセパレートタイプがあります。写真は一体型の読書器です。

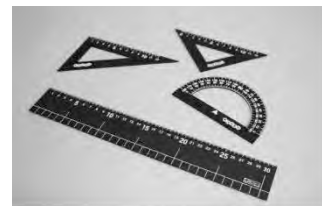


単眼鏡



黒板や信号、各種看板など遠方を見る時の補助具として使用します。写真の用具は焦点調節式のもので。

定規・分度器



ロービジョン用にコントラストをはっきりさせた目盛りの見やすい定規・分度器です。

点字使用者のための用具など

点字教科書



点字は、視覚の障がいによって普通の文字（墨字）を使用できない人が使います。触覚を利用して読む盛り上がりのある点で表現された文字です。点字を書くための筆記具には点字盤やタイプライターがあります。点字使用者のための教科書は特別に編集されたものです。点字を身につけるために必要な能力を育むための認知教材も様々なものがあります。

点字タイプライター



点字盤

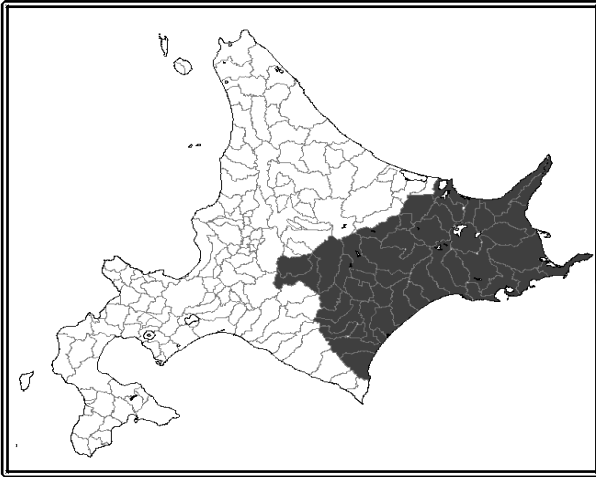


教材室



帯広盲学校の校区

校区内に居住する見えにくさのある幼児児童生徒が入学の対象になります。また、校区内小中学校等に在籍する視覚に障がいのある児童生徒や指導されている先生方への支援なども行っています。



釧路市、帯広市、北見市（留辺蘂及び常呂町の区域を除く）、網走市、根室市、富良野市、南富良野町、占冠村、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、大空町、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町

このようなお子さんはいらっしゃいませんか？

- ☆眼科や療育機関、幼稚園・保育所などでよく見えていないようだとされた。
- ☆目の前のものを目で追わない、明るいところで極端にまぶしがる、テレビや本に顔を近づけて見ているなど、ものの見方や見え方が気になることがある。
- ☆教科書や黒板の字が見えづらく、学習に不安がある。
- ☆文字や数字を読んだり書いたりすることに難しさがある。

このようなことでお困りの保護者・先生はいらっしゃいませんか？

- ☆見えにくさのある乳幼児の育て方がわからない。
- ☆見えにくさのある子どもの進路や将来が心配だ。
- ☆見え方に不安のある子どもの学習指導の進め方がわからない。

見え方の問題は

生活 学習 進路 就労 など

お子さんの成長の様々な場面とかかわりがあります。

見え方や見えづらさが理由と思われる日常生活や学習上の困難さ、心配な点がございましたら、お気軽にご相談下さい。眼やものを見るしくみ・眼の病気などについての説明、各種視力検査（遠見視力・近見視力・色覚など）、視知覚発達検査などを実施し、見え方・見えづらさに応じた支援の方法を検討します。

まずはご連絡ください！

教育相談担当

教頭・地域支援部・コーディネーター

電話 0155(37)2028

FAX 0155(37)3768

e-mail

obihiro-sb-z1@hokkaido-c.ed.jp

(教育相談代表)

obihiro-sb-z0@hokkaido-c.ed.jp

(学校代表)

